

事業の概要

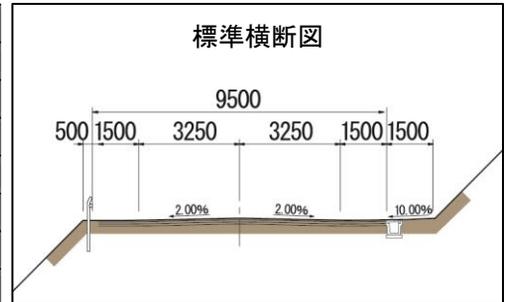
一般国道 397号 津付道路

計画概要

「一般国道 397号 津付道路」は、気仙川流域の住民を洪水被害から守るために大股川に計画された津付ダムによって水没する付替国道として整備しました。

平成17年度から調査設計・用地補償を進め、19年度には工事に着手し、ダム建設は平成23年3月発災の東日本大震災津波復旧・復興による気仙川流域の治水対策を見直し、やむを得ず中止することとしましたが、震災以後『復興支援道路』として事業を継続し、約10年の歳月を経て、平成26年10月26日、供用開始しました。

工区名	一般国道 397号 津付道路
区間	起点: 気仙郡住田町世田米字中井 終点: 気仙郡住田町世田米字子飼沢
延長	2,660m
幅員	車道6.5m 歩道-m 全体幅員9.5m
車線数	2車線
道路規格	第3種3級
設計速度	60km/h



整備効果



大型車のすれ違いが困難な道路幅員



H15.5.26三陸南地震による法面崩壊

●走行性の向上

- ・せまい道路幅員が解消され、大型車のはみだし走行がなくなります。
- ・急勾配・急カーブが解消され、快適な走行ができます。冬期間の円滑な通行も図られます。
- ・走行性が良くなると交通の安全性が高まります。

●大船渡～岩手県内陸部の交流・物流条件の向上

- ・大型車のすれ違い困難が解消され、交流・物流条件の向上が期待できます。

●災害に対する安全性の向上

- ・急峻地形に起因する法面崩壊、土砂崩れ等に対する安全性の向上が期待できます。